

子どもを守り育てる体制づくりのための有識者会議 「まとめ(第1次)」のポイント

「いじめを早期に発見し、適切に対応できる体制づくり」
—ぬくもりのある学校・地域社会を目指して—

1. 有識者会議の経緯

- ・池坊副大臣の指揮のもと、11月15日から計8回実施。
- ・横浜市内の市立中学校視察(12月4日)、「いじめ問題などに対する喫緊の提案」発表(12月4日)、「生徒指導上の諸問題に関する調査」等について議論
- ・2月27日(火)に最終的なとりまとめを座長(梶田叡一 兵庫教育大学長)から池坊副大臣に手交予定。

2. 「5つのメッセージ」

1 教師は、いじめを許さず、子どもをしっかり守ろう！

- ・いじめを早期に発見し適切に対応することで、いじめを長期化、深刻化、複雑化させないことが重要。
- ・いじめを絶対に許さず、いじめられている子どもを徹底して守ることが大切。

2 学校は、地域の人材を活用して「ナナメの関係」をつくろう！

- ・社会全体で子どもを育て守るためには、親でも教師でもない第三者と子どもとの新しい関係＝「ナナメの関係」をつくることが大切。
- ・地域社会と協同し、学校内外で子どもが多くの大人と接する機会を増やすことが重要。

3 教育委員会等は、多様な専門機関・専門家と協力しよう！

- ・いじめは学校だけでは解決できない。
- ・多様な専門機関や専門家の理解と協力を得ることが必要。

4 保護者は、携帯電話等の活用の仕方を再考しよう！

- ・子どもたちにとって携帯電話、テレビ、インターネットの影響は非常に大きい。
- ・携帯電話を利用した犯罪やトラブルは社会問題となっているため、保護者は携帯電話の活用について再考することが必要。

5 全ての大人は、自らの責任を見つめ直し、子どもに「生きる」ことの意味を教えよう！

- ・大人一人一人が、自らの社会的責任を果たしているか、また、子どもに「生きる」ことの意味を教えているか、考えてみる必要がある。